

日本工営 ベトナム国で自動運転車両の実用目指し実証実験開始

～ エコパーク内交通の適正化によるスマートシティ化を支援 ～

日本工営株式会社（代表取締役社長：新屋浩明、以下、日本工営）と、ベトナム国大手不動産デベロッパー Ecopark グループの ECOTEK TECHNOLOGICAL SERVICES JOINT STOCK COMPANY（以下 Ecotek 社）、AI や次世代モビリティの研究・開発を行う PHENIKAA-X JOINT STOCK COMPANY（以下、Phenikaa X 社）の3社は、2021年12月に協力覚書を締結し、この度協力事業として自動運転車両の走行実証実験を開始しました。

本実証実験は、ベトナム国首都ハノイ近郊にて Ecopark グループが進めている国内最大規模のタウンシップ開発「Ecopark プロジェクト」の域内約2km範囲にて、Phenikaa X 社が研究・開発する自動運転車両の走行試験を行い、その安全性と利便性、自動運転モビリティの導入可能性を実証します。域内交通は、現在 Ecopark グループが運営する小型モビリティやレンタル自転車、既存ライドヘイリング（自動車による送迎サービス）、タクシーなどが利用できますが、住民および域外からの訪問者の利便性を更に高めるための交通計画策定、バス運営の効率性が課題となっています。この課題に対し、日本工営の持つ日本国内外での自動運転実証事業で得た知見・経験や都市計画、交通計画等の幅広い技術ソリューション、Phenikaa X 社の持つ自動運転車両およびソフトウェア開発のノウハウを組み合わせ、自動運転車両・交通データ等を活用した域内交通モード策定および運営コストの最適化、ハノイ市中心部へのアクセス向上および Ecopark の更なるスマートシティ化に向けたソリューションの提案を行います。2023年末までに自動運転車両のサービス開始と、居住者および域外からの訪問者が域内外交通の手配をスムーズに行う事が出来る MaaS アプリケーションの本格運用開始を目指します。

3社は今回の実証実験を端緒に、Ecopark プロジェクト全体の更なるスマートシティ化へのソリューション提供、他地域への展開も見据えた連携を推進します。

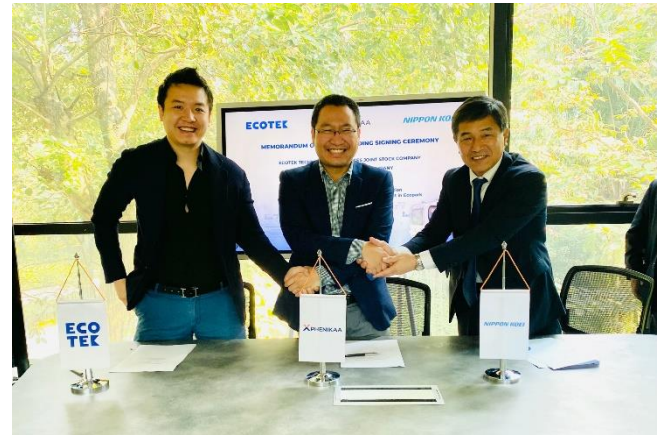
日本工営は今後も、ICT を活用しながらまちづくりや交通の高度化を推進し、より多くの方々の安全・安心な生活に貢献してまいります。



自動運転車両（Phenikaa）

協力覚書締結調印式の様子

左から Mr. Lam Nguyen (Ecotek CEO)、Mr. Le Anh Son (Phenikaa X CEO)、森 博文 (日本工営ハノイ事務所長)



■ Ecopark プロジェクトについて

ベトナム国フンエン省の首都ハノイ市中心部から南東約 20km に位置し、総開発面積 500ha、住宅、商業施設、オフィス、大学、病院、公園、ゴルフ場などを併設する大規模都市開発事業です。2021 年現在の人口は約 2 万人で、2030 年までに 11 万人となる計画です。開発開始時からスマートシティ推進に取り組んでおり、ベトナム国におけるスマートシティ事例の先駆的な案件の 1 つとなっています。



Ecopark プロジェクト現地俯瞰写真

■ 実証試験概要

概要： Ecopark プロジェクト内の 1 周 2km の対象エリアにおいて自動運転車両の走行実証試験、住民による試乗とアンケートによる調査を実施。得られた走行データや調査結果、既存交通データを基に解析、分析を行い課題解決のソリューションおよびスマートシティ推進方策を検討する。

期間： 2021 年 11 月 29 日～2021 年 12 月 14 日 (13 日間)

走行試験ルート： 約 2km

自動運転車両仕様： 航続距離：約 100km

速度：最高 40km/時

耐荷重：約 600kg (4 人乗り)

本実証試験における各社の役割：

Phenikaa X：自動運転車両およびシステムの実証

日本工営：自動運転技術のコンサルティング、スマートシティ化に向けた交通計画・データ分析

Ecopark (Ecotek)：実証や開発に必要なインフラおよび施設の提供

-本件に関するお問い合わせ先-

日本工営株式会社コーポレートコミュニケーション室

TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.n-koei.co.jp/>